

事 務 連 絡

令和3年2月26日

石川県漁業協同組合 御中

金沢海上保安部交通課長 土田康二

石川県漁業協同組合所属漁船の事故に伴う注意喚起のお願い

日頃から、海上保安業務にご理解とご協力いただきありがとうございます。

さて、令和3年2月13日（土）西海支所所属の底引き網漁船の乗組員が漁
労中に負傷する事故が発生しました。令和2年から金沢海上保安部管内では漁
船・漁師による海難・人身事故が多数見受けられ、その多くは負傷者の不注意か
ら事故が発生したものと考えられます。

つきましては、貴所から、各漁協支所へ船舶機材の再点検及び安全作業の認識
共有など、事故防止の徹底を図っていただきたくお願い申し上げます。

船舶・人身事故は、大事な命を奪ってしまい、又財産の損失になりかねません。
大切な家族・同僚のためにも、守るべき事項はしっかり守り、基本に戻って安全

の確保をお願いします。

金沢海上保安部管内で発生した、令和2年から現在に至る漁船の海難・人身事故は、

令和2年1月12日 えびかご漁船 潜水作業中に溺水（死亡）

令和2年1月16日 底引き網漁船 乗組員の海中転落（行方不明）

令和2年3月26日 引き釣り漁船 機関故障による運航不能

令和2年5月2日 延縄漁船 たこかご揚げ作業中に海中転落（死亡）

令和2年7月5日 刺し網漁船 刺し網回収中に転覆及び乗組員の海中転落
(救助)

令和2年8月31日 定置網漁船（被曳航船） 漂流による運航不能

令和2年9月15日 まき網漁船 乗組員の負傷（入院後死亡）

令和2年10月14日 まき網漁船 乗組員の負傷（全治3か月）

令和3年2月13日 底引き網漁船 乗組員の負傷（2週間の入院）

注意事項

航行時における常時見張りの徹底のほか、「自船の安全確保3か条」を遵守して海難防止を未然に防ぐこと

◆春の海 機関故障が増加！シーズン前に点検整備！

シーズンイン直後の機関故障の海難事事故事例

- バッテリー端子の腐食・接触不良による船外機起動不可
- 潤滑油の不足・劣化による機関の焼き付き
- インペラの破損による機関の焼き付き
- キャブレターの整備不良による機関停止
- 燃料こし器の目詰まりによる機関停止



- ✓ シーズン前・発航前の点検整備を行いましょう。
- ✓ 整備はメーカー・専門業者・整備士に依頼しましょう。
- ✓ 発航前検査の義務違反は行政処分の対象となります。
- 発航前検査チェックリストを利用しましょう。（別紙）



燃料の残量確認



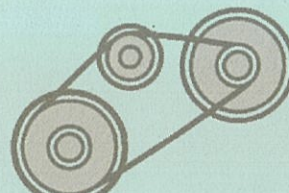
分離器・フィルタ確認

燃料系

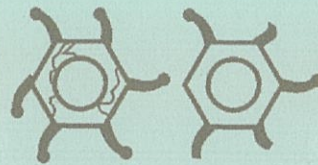


バッテリー電圧・液量
端子・ケーブル確認

始動系

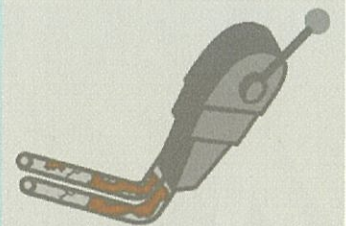


Vベルトの確認

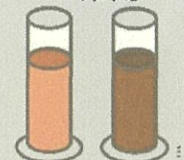


インペラ確認・交換

冷却系



コントロールケーブル
の確認



オイル類の確認・交換

機関係

メンテナンス
ガイド

(日本小型船舶検査機構)



船内機



船外機



PWC



海の安全情報

問い合わせ先：第九管区海上保安本部 海の安全推進室（交通部 安全対策課）

〒950-8543 新潟県新潟市中央区美咲町1-2-1 TEL 025-285-0118

発航前検査チェックリスト

発航前検査は、船長の義務です。
発航前の検査義務違反は行政処分の対象となります。



エンジン始動前の検査

船体の検査

- ① 船体に亀裂や破口はないですか。
- ② エンジンルームや船底のビルジ（汚水）の量は普段より多くないですか。



エンジンの検査

- ③ 航海計画に見合った燃料は十分にありますか。
- ④ 燃料コック（バルブ）は開いていますか。
燃料フィルターやセジメンター（油水分離器）にゴミや水分の混入はないですか。
- ⑤ エンジンオイル（潤滑油）の量は十分ですか。
- ⑥ 冷却清水の量は十分ですか。
- ⑦ バッテリーの液量は十分ですか。また、ターミナルは十分締め付けられていますか。



救命設備等その他の検査

- ⑧ ライフジャケットを着用しましたか。
- ⑨ 通信手段の充電量、予備バッテリーを確認しましたか。
- ⑩ 気象・海象情報、水路情報は確認しましたか。



エンジン始動後の検査

エンジンの状態確認

- ⑪ 回転計、冷却水温度計、油圧計、電流計または電圧計は正常値を指していますか。
- ⑫ 冷却用の海水は通常どおりの量及び勢いで排出されていますか。
- ⑬ エンジンから異常な音や臭いはありませんか。



© 2014 JMRA/KAZI

もし事故が発生した時は？

事故が発生したら、直ちに人命・船舶の救助を行うとともに、海上保安庁（118番）、付近の船舶などへ以下の項目について連絡してください。自船（乗船者）に緊急事態が発生していることを周りに知らせることが重要です。

- 通報者の名前
- どのような事故か
(衝突、転覆、急病、海中転落など)
- 事故発生場所（通報場所）はどこか
(場所が不明な場合、出航場所及び事故発生場所への航行時間等)
- 傷病者の人数、傷病の状況及び実施した措置
- 船名、船種、乗船人数、船体の特徴
- 今通報している以外に利用できる連絡手段
- 船舶の状況及び実施した措置
- その他参考事項

